

会員の声が診療放射線技師の未来を開く

江藤 芳浩

公益社団法人日本診療放射線技師会 副会長

放射線医療の技術革新は加速を続け、診療放射線技師に求められる役割は一層広がっています。その一方で、働き方の変化やキャリア形成への不安など、日常業務の忙しさの中に埋もれがちな課題も少なくありません。JARTが職能団体として目指すのは、会員が誇りを持ち、専門性を最大限に発揮できる環境を維持・発展させることです。その実現の鍵となるのが、会員の「声」を集めるアンケート調査です。アンケート調査は単なる事務作業ではなく、診療放射線技師の将来を示す羅針盤であり、本会と会員をつなぐ大切な架け橋といえます。



アンケート調査によって会員の声をデータとして可視化することで、漠然としていた課題は「事実」として明確になります。行政や関連団体への政策提言においては、感覚的な意見では通用しません。しかし、「会員の〇%がこの課題にこう回答している」と数字で示すことで、主張は社会や行政に対して格段に説得力を増します。つまりアンケート調査による会員一人一人の回答が、診療放射線技師の未来を切り開く力強い「武器」となるのです。

アンケート結果を社会に訴えるに足るものにするには、一定数以上の回答が欠かせません。本会の34,000人の会員を対象とする調査においては、少なくとも1,000人以上の回答で最低限の精度が担保され、8,000人を超えれば「会員の総意」として示すことができます。そのため昨年度から、より多くの回答を頂けるようアンケートの在り方を見直してきました。例えばスマートフォンなどから手軽に回答できるフォームの導入、調査目的の明確化、簡潔で分かりやすい設問の工夫などです。さらに集まったデータは単なる数値報告にとどめず、多角的な分析を行い、調査目的の具体的な行動へとつなげてまいります。

一方で、「自分の意見など届かないのでは」と感じた方もおられるでしょう。本会としては、回答結果を必ず会員の皆さまに還元（報告）し、「意見が形になった」と実感いただけるよう努めます。その実感こそが、本会と会員との信頼関係を強めるものと考えています。現在、本会ホームページの会員情報システムサイトのJART Plus会員無料コンテンツに、分析が終了したアンケート結果を掲載していますので、ぜひご覧ください。

最後になりますが、本会の未来は、診療放射線技師一人一人の声の積み重ねによって形づくられます。会員の声は、やがて会員自身のキャリア形成へと還元されるでしょう。お忙しい中、お手数をお掛け致しますが、わずか数分のアンケート回答が、職能の将来を支える礎となることをご理解いただきたいと思います。今後も調査事業を継続してまいりますので、どうか率直なご意見をお寄せください。

会員の皆さまと共に歩み、共に診療放射線技師の未来を築いていきたいと願っています。